

(2) 用地取得の状況について

平成 2 2 年 6 月 3 日 (木) に開催された第 7 5 回北但行政事務組合臨時会において、用地取得議案を上程し、賛成多数により原案どおり可決された。

施設建設用地の約 8 割を取得。

相続手続等に時間を要し、今回上程できなかったもののうち、約 1 5 % はすでに内諾をいただいている。

残りの約 5 % の用地については、引き続きご理解をいただけるよう交渉中。

【基本理念】

環境学習と地域交流ができる新しい環境の創造

【基本方針】

自然との共存・共生や、資源循環と環境保全について考える体験と交流の場とする

周辺環境を保全・再生し、自然との共存・共生の場を提供する

季節を感じ、自然の恵みを感じられる
自然環境を保全・再生する

生物多様性を図る

周辺景観との調和を図る

「ごみ」を通じて、資源と環境の大切さを学ぶ場を提供する

資源の循環を通じ、環境問題を学ぶ

廃棄物の適正処理、リサイクルを通じ、資源・環境問題を学ぶ

体験型の環境学習の場とする

豊かな心を育む集いの場を提供する

誰もが気軽に立ち寄り、自然にふれあうことができる場とする

住民と共に環境保全に取り組み、交流が図れる場とする

環境情報の発信拠点とする

周辺整備計画ゾーニング(案)

拠点施設ゾーン

- ・処理施設と連携した施設整備を行う区域
(処理施設配置の造成盤と連続した敷地が整備できる区域)

水辺活用ゾーン

- ・木谷川沿い及び調整池を活用した親水空間

進入路修景ゾーン

- ・進入道路沿いの良好な景観形成のために沿道修景を行うゾーン

利用・体験の森ゾーン

- ・森林を活用した学習や体験など、多様な利用に対応するゾーン

保全・再生の森ゾーン

- ・現況の豊かな自然環境を保全するとともに、荒廃した森林を再生するゾーン

谷筋の景観形成ゾーン

- ・開発敷地外周部について、周辺景観(周辺環境)との調和を図り、谷筋の景観づくりを行うゾーン

